

補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	函館市地域組織活動費補助金	開始 年 度	平成4年度
団 体 名	函館市中央母親クラブほか23クラブ		
助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	函館市地域組織活動費補助金交付要綱		

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	・親子および世代間の交流活動または文化活動 ・児童養育に関する研修活動 ・児童の事故防止等に関する活動 ・児童福祉の向上に寄与する活動
目 的	(目 的) 母親クラブは現在市内の児童館を拠点に各々の児童館と連携した事業を展開するほか、地域で様々な子どもたちの健全育成のためのボランティア活動を行い、母親としての資質向上および児童福祉の向上を図る。
・ 効 果	(効 果) 近年の核家族化、少子高齢化、地域のつながりの希薄化など、子どもを取り巻く環境が変化する中、地域で子どもたちを育み、子育て支援を行う母親クラブの活動は、非常に重要である。

○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金		計
		市	その他					
収 入	26	4,995	905	1,183	499	100		7,682
	27	3,780	520	1,062	393	101		5,856
	28	3,828	495	1,212	370	0		5,905
	29	3,828	459	1,010	369	0		5,666
	30	4,320	281	970	312	0		5,883
支 出	年 度	事業費	上部団体負担金等	予備費				計
	26	7,176	405	101				7,682
	27	5,520	336	0				5,856
	28	5,569	336	0				5,905
	29	5,330	336	0				5,666
	30	5,547	336	0				5,883

補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	函館市地域組織活動費補助金
----------------	---------------

○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	☒ ☒ ☒	☐ ☐ ☐	母親クラブ（通称）は、函館市内の児童館を拠点に各々の児童館と連携した事業を展開するほか、地域で子どもたちの健全育成のための様々なボランティア活動を行っている。
2	必要性（補助しなければならない事業であるか）	☒	☐	近年の移家族化、少子高齢化、地域のつながりの希薄化など、子どもを取り巻く環境は変化し、地域で子どもたちを育み、子育て支援を行う活動が一層重要となってきたため。
3	自主性（自主自立に向け努力しているか）	☒	☐	地域の母親等がボランティア活動をするにあたっては、補助金の継続が無ければ今後の活動は非常に難しい。
4	有効性（他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か）	☒	☐	自主的な活動を尊重しながら補助金として支出することが最適である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	☐	
2	補助金等の使途は適切である	☐	
3	積算基準は定められている	☐	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	☒	当該団体は、ほぼ当市からの補助金により運用されており、1/2を団体が負担することは、団体の性質上困難である。
5	前年度繰越金は生じていないか	☐	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	☐	
7	経常経費の節減に努めているか	☐	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	函館市地域組織活動費補助金
----------------	---------------

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)
主な活動として ①親子および世代間の交流事業または文化活動 ②児童養育に関する研修活動 ③児童の事故防止等に関する活動 ④その他児童福祉の向上に寄与すると活動
(達成状況)
上記活動として, 餅つき会や季節の行事等による世代間交流, 子育て支援に係る講演会などの研修およびお祭りの見回りや、児童公園の遊具点検等を行っている。

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。

(評 価)	(理 由)
十分効果をあげている ☐ 一定の効果をあげている ☒ 効果が疑問である ☐ その他 ☐	児童の健全育成, 子育て支援の活動として, 地域に定着している。

○今後の方向性

☐ 現行のまま補助を継続	(見直しの内容) 当該団体は, ほぼ当市からの補助金により運用されており, 補助金の継続が無ければ今後の活動は非常に困難である。平成27年度に積算基準の見直しを行ったところであり, 今後も経費の削減等に努めることとし, 現行の補助を継続する。 (見直しの時期) 令和3年度
☒ 見直したうえで補助を継続	
☐ 廃止	
☐ その他	
(廃止の理由)	
(その他の内容)	
(廃止の時期)	

○終期の設定

終期設定	☐ 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
令和 3 年度	☒ 終期到来時に再検討	令和 3 年度